

だれもが住みたくなる

福祉滋賀のまちづくりを進めるために

おう み

こう どう し しん

# 淡海ユニバーサルデザイン行動指針



滋 賀 県

はじめに～ユニバーサルデザインとは

- ① ユニバーサルデザインとは…………… 2
- ② バリアフリーとユニバーサルデザイン…………… 2

第1章 指針の策定の趣旨

- ① 指針の策定の趣旨…………… 3
- ② 指針の性格…………… 4
- ③ 指針の見直し…………… 4

第2章 滋賀県の現状

- ① 少子高齢化の進展…………… 5
- ② 国際化の進展…………… 6
- ③ 人権の尊重…………… 7
- ④ 環境共生の時代…………… 8

第3章 滋賀が進めるユニバーサルデザイン

- ① 基本目標…………… 9
- ② みんなで取り組むユニバーサルデザインの基本姿勢および視点…………… 9
  - ① みんなで取り組むユニバーサルデザインの基本姿勢…………… 9
  - ② みんなで取り組むユニバーサルデザインの視点…………… 12

第4章 連携と協働による推進

- ① 県の役割…………… 13
- ② 市町に期待される役割…………… 14
- ③ 県民に期待される役割…………… 14
- ④ 事業者に期待される役割…………… 15
- ⑤ 民間団体に期待される役割…………… 15

第5章 これから目指す方向

- ① だれもが取り組むユニバーサルデザイン…………… 16
  - ① 継続的な理解促進…………… 16
  - ② 学びの場づくり、ひとづくり…………… 17
- ② だれもが暮らしやすいまちづくり…………… 18
  - ① 利用しやすい施設…………… 18
  - ② 移動しやすいまち…………… 20
  - ③ 快適に過ごせる住まい…………… 21
- ③ だれもが使いやすいものづくり…………… 22
  - ① 製品開発…………… 22
  - ② 製品の利用促進…………… 23
- ④ だれもが満足できるサービス・情報の提供…………… 24
  - ① 「もてなし」の心のこもったサービスの提供…………… 24
  - ② わかりやすい情報の提供…………… 25

〈資料1〉用語の解説…………… 27

本文中に「※」印を付けた語句についての解説です。

〈資料2〉具体的な取組例…………… 31

# はじめに ユニバーサルデザインとは

## 1 ユニバーサルデザインとは

だれもがひとりの人間として尊重され、安心して暮らせる社会の実現は、全ての人の願いです。

このためには、年齢、性別、ことばの理解度、障害や病気のあるなしなどに関わらず、また、大きな荷物を持っている時や子どもを連れている時、妊娠している時、けがをしている時など、どのような状態の時でも、自由に行動でき、快適に生活できる社会であることが大切です。

ユニバーサルデザインとは、こうした社会を実現するために、すべての人が、またどのような状態の時でも利用可能なように、はじめから考えて計画し、実施するとともに、その後もさらに良いものに変えていこうという考え方です。

現実的には「すべての人」に合わせることは難しいかもしれませんが、しかし、ユニバーサルデザインの考え方には、難しい場合にはそれぞれの状況に応じた代替りの案を考えるなど、目標に向けてより多くの人に参加し、より良いものにしていこうという取組の過程そのものや、その姿勢も重要なこととして位置づけられています。

## 2 バリアフリーとユニバーサルデザイン

「ユニバーサルデザイン」と比べられる考え方に「バリアフリー」があります。ユニバーサルデザインもバリアフリーも、だれもが快適で自由に行動できる社会を目指すという目標は共通しています。

バリアフリーは、日常生活や社会生活の中での様々な障壁（バリア）を取り除いていこうという考え方であり、段差解消のためのスロープやエレベーターの設置など、施設の改善をはじめとするいろいろな取組により、これまで行動しづらかった方々の社会参加のために一定の成果を上げています。障壁がある限り、この取組が重要であることに変わりはありません。

ユニバーサルデザインは、バリアフリーの取組をさらに進め、様々な人の特性や違いなどを考慮し、はじめからすべての人を考えに入れて計画し、実施することにより、障壁を作らないという考え方です。

### ユニバーサルデザインの考え方の例

